

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■総務部編集委員会 ■発行/公益財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

・北東北総体 (柔道競技)

柔道女子個人戦 78kg 超級

★鹿南・稲森奈見初優勝!

8月13日秋田県立武道館で開催された2011年全国高校総合体育大会(熱戦再来北東北総体)で、柔道女子個人戦78kg超級の稲森奈見選手(鹿児島南高3年)が初優勝した。柔道個人戦の県勢制覇は、男女を通じて初めての快挙です。

稲森奈見選手は、1回戦から決勝戦まですべて1本勝ち。決勝戦では、藤原恵美選手(愛知・大成)を横四方固めで下した。



・鹿児島県体育協会表彰者

【体育功労者】

1 田島 史朗さん

長年にわたり本県柔道の振興に尽力し多大の貢献をした。

2 小林 義弘さん

長年にわたり本県柔道の振興に尽力し多大の貢献をした。

・鹿児島市体育協会表彰者

【体育功労者】

濱田 征夫さん

長年にわたり鹿児島市柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。

・九州中学校柔道大会歓迎の挨拶

新幹線全線開通で九州が一つになったこの年。それぞれの県で、夏の暑さにも負けぬ熱い戦いを繰り広げ、九州柔道大会への出場を決められた皆さん。ようこそ鹿児島へいらっしゃいました。心より歓迎いたします。

ここ鹿児島は、悠々と噴煙を上げる桜島、そのふもとに広がる「我は海の子」で知られる錦江湾、さらに多くの島があり、素晴らしい自然を有しています。

また、明治維新では、西郷隆盛さん、大久保利通さんを双璧に歴史にも深い関わりのある人物を送り出している県です。

そんな鹿児島で今、更に熱い戦いが始まろうとしています。この日が来るまで、それぞれに、たくさんの試練があったと思います。どんなにきつくつらい時でも、自分と仲間を信じひたすら組み合った日々の練習。ときには、涙を流し自分に負けそうになったこともあると思います。でも、数々の壁を乗り越え今この場に立っている皆さんは、気迫溢れる力強い柔道が出来ると思います。その柔道を支えてくれた先生方、日々をともに過ごした仲間やサポートしてくれた家族への感謝の気持を忘れず、精一杯戦ってください。

ここ鹿児島では、先に紹介した西郷隆盛さんも習っていた郷中教育の精神をもとに薩摩柔道ルネッサンス宣言を行っています。

私たちは柔道をとおして (1 ひとつ)

1, 立派な人間になります

1, 弱い者をいじめません

- 1, ウソをつきません
- 1, 礼儀を正しくします
- 1, 自分に負けません

九州各県の代表として、この鹿児島アリーナに集結した皆さんが、薩摩柔道ルネッサンス宣言にも通じる中学生らしい思い切った柔道をして、この会場中に感動をもたらすことを期待し、歓迎の挨拶に代えさせていただきます。

平成23年8月10日

鹿児島県鹿児島市立谷山中学校 湯田咲子



(支部だより 12)

「鹿児島支部の現況」

鹿児島支部長 西川 達也

鹿児島支部は、昭和21年12月1日に設置され、鹿児島県柔道会と同様の歴史的な経過をたどって今に至っています。

現在、登録団体と指導者を含めた登録者数は、スポーツ少年団が6団で89人、中学校が12校で137人、高等学校が15校で205人、専門学校が1校で32人、大学が2校で39人、企業が1社で15人。合計で、517人となっています。市町村合併による支部内の小・中学校数は、増えていますが、少年団や中学校での登録団体や登録者が少ないのが、大きな課題です。

鹿児島支部が、主催・主管する事業のいくつかを紹介します。

一つめは、7月の下旬に6日間行われる中・高校生を対象とした夏期柔道講習会の開催です。これは、講習会修了の翌日、鹿児島県柔道会が主催する夏季柔道昇段試験を受験する人たちの講習会で、県柔道会館で多くの指導者から「柔道学習の手引き」をテキストにして、熱心に学んでいます。

また、3月の下旬にも、春期柔道講習会として実施しています。

二つめは、8月上旬の鹿児島市民体育大会中学校柔道競技大会の開催です。これは、一般対象の柔道大会を諸般の事情で、中学校柔道大会として開催しているものです。今後、色々な工夫と努力が必要かと考えています。

三つめは、県民体育大会柔道競技の強化対策として一般・高校生を対象とした強化練習を8月の下旬から9月の中旬にかけて、毎年3回実施しています。一年間を通した選手強化のための強化練習が課題となっています。

今後の長期的な活動目標としては、「8年後に開催予定の全国高等学校総合体育大会や9年後に開催予定の国民体育大会を成功させること」があります。これらの開催をビッグチャンスとして捕らえて、県柔道会の御指導を受けながら、選手強化や役員の資質の向上など、一步一步確実な取組みを進めてまいりたいと考えています。

(道場めぐり 11)

「日本一の少年団」を目指して

三笠柔道スポーツ少年団代表 古賀正男

私たちが目指す「日本一の少年団」とは、柔道も強くて、人に優しく、人に好かれ、人のためになれる子供たちを育てることです。

昭和57年11月に脇本小学校柔道教室を開講し、10名の子供たちが集まり、三笠柔道スポーツ少年団が、誕生しました。

練習は、三笠中学校柔道場で、毎週月曜日と木曜日の夕方から稽古を行っています。

現在、柔道好きの小学生と中学生の20名が、柔道の稽古に参加し、熱心に取り組んでいます。

【子供たちに、柔道を好きにさせること。】
これを目標にして、指導しています。

勝った時は、良かったね。負けた時は、今度は、勝つように頑張ろうねと、励ましています。柔道少年団を卒団した高校生・大学生大人の人たちも少年団の柔道の練習に、気軽に参加してくれるのも特徴の一つです。

三笠柔道スポーツ少年団の規約の中に道場訓があります。

- 1 柔道で、正しい礼儀作法を身につけよう。
- 2 柔道を通じて、お互いに良い友達になろう。
- 3 柔道の頑張る力で、勉強にも励もう。
- 4 柔道を通して、郷土を愛する人になろう。
- 5 道場で、心と体を鍛錬し、世の中の役に立つ人になろう。
- 6 柔道の試合においては、礼儀を正し、必勝の気力で、最後まで戦おう。

三笠柔道スポーツ少年団員は、柔道だけが強い子供でなくて、思いやりがあって、勉強にも頑張る子供。そして、皆から好かれる子供を目指しています。



昭和57年に三笠柔道スポーツ少年団を結成してから29年が経過しました。たくさんの子供たちが入団し、卒団していきました。

その子供たちも、今では、高校生・大学生・一般社会人として立派に活躍してくれています。

現在、団員も少なくなりましたが、この三笠柔道スポーツ少年団の火を消さないようにこれからも指導者と後援会が力を合わせて頑張っていきます。

今後とも、県柔道会の北 哲郎会長をはじめ、諸先生方の御指導をよろしくお願ひします。

各種大会の成績 (6月～9月)

・県ジュニア体重別選手権大会

6月11日(土) 鹿児島アリーナ武道場

- ◇男子(55kg級)
 - 1位 藤田 隼也(鹿屋体育大学)
 - 2位 米永 源(鹿児島情報高等学校)
- ◇男子(60kg級)
 - 1位 山中 大熙(鹿屋体育大学)
 - 2位 前田 力丸(鹿児島実業高等学校)
- ◇男子(66kg級)
 - 1位 豎山 将(鹿児島情報高等学校)
 - 2位 富永 太志(全国警備保障)
- ◇男子(73kg級)
 - 1位 有田 翔(鹿屋体育大学)
 - 2位 近藤 航汰(鹿児島情報高等学校)
- ◇男子(81kg級)
 - 1位 木村 隼輔(鹿屋体育大学)
 - 2位 盛田 勝義(明桜館高等学校)
- ◇男子(90kg級)
 - 1位 山岸 晃大(鹿屋体育大学)
 - 2位 竹下 恭平(明桜館高等学校)
- ◇男子(100kg級)
 - 1位 岩城 敏伸(鹿屋体育大学)
 - 2位 下村 柔悟(鹿児島情報高等学校)
- ◇男子(100kg超級)
 - 1位 飛松 直樹(鹿児島情報高等学校)
 - 2位 柿野 良太(鹿児島情報高等学校)
- ◇女子(44kg級)
 - 1位 福山 まりん(川内中央中学校)
 - 2位 西村 純奈(出水中央高等学校)
- ◇女子(48kg級)
 - 1位 魚山 莉央(鹿屋体育大学)
 - 2位 井田 瑞穂(鹿児島南高等学校)
- ◇女子(52kg級)
 - 1位 柿木田 江梨(鹿児島南高等学校)
 - 2位 猪村 智美(鹿屋体育大学)

◇女子 (57kg級)
 1位 富濱 綾香 (鹿屋体育大学)
 2位 岡村 舞子 (鹿児島水産高等学校)

◇女子 (63kg級)
 1位 松原 美穂 (種子島中央高等学校)
 2位 神村 もも (鹿児島南高等学校)

◇女子 (70kg級)
 1位 榎谷 有里 (鹿児島南高等学校)
 2位 長野 希美 (鹿屋体育大学)

◇女子 (78kg級)
 1位 高山 莉加 (鹿児島南高等学校)
 2位 花田 夕稀 (鹿児島南高等学校)

◇女子 (78kg超級)
 1位 稲森 奈見 (鹿児島南高等学校)
 2位 石橋 貴穂 (鹿屋体育大学)

・県下中学校柔道大会
 6月12日 (日)
 鹿児島アリーナ武道場

◇団体戦 (男子)
 1位 舞鶴中学校
 2位 山川中学校
 3位 鹿屋東中学校
 3位 志布志中学校

◇団体戦 (女子)
 1位 舞鶴中学校
 2位 川辺中学校
 3位 中種子中学校
 3位 伊敷中学校

◇個人戦 (男子)
 1位 田中 充 (松元中学校)
 2位 高吉 俊章 (舞鶴中学校)

◇個人戦 (女子)
 1位 青柳 麗美 (舞鶴中学校)
 2位 牧田 朱加 (川辺中学校)

・県下少年学年別柔道大会
 6月19日 (日) 鹿児島アリーナ武道場

◇男子4年生 (40kg級)
 1位 濱田 聖良 (南種子)
 2位 岩坪 翔輝 (正道館)

◇男子4年生 (40kg超級)
 1位 井上 力哉 (柔心館)
 2位 岩坪 龍輝 (正道館)

◇男子5年生 (45kg級)
 1位 内村 秀資 (光武館)

2位 柞木 速斗 (かわなべ)

◇男子5年生 (45kg超級)
 1位 実 鍊真 (瀬戸内)
 2位 福重 啓也 (末吉)

◇男子6年生 (50kg級)
 1位 蜂須賀 学 (光武館)
 2位 杉山 翔一 (天城)

◇男子6年生 (50kg超級)
 1位 吉村 太一 (光武館)
 2位 吉野 弘人 (野田)

◇女子4年生 (35kg級)
 1位 中馬 梨歩 (米倉柔道館)
 2位 向吉 湖菜 (青雲)

◇女子4年生 (35kg超級)
 1位 川村 愛美 (大口)
 2位 藤川 可蓮 (双葉)

◇女子5年生 (40kg級)
 1位 有馬 さくら (加世田)
 2位 西 李香 (串木野)

◇女子5年生 (40kg超級)
 1位 上釜 さくら (枕崎)
 2位 野田 笑里 (双葉)

◇女子6年生 (45kg級)
 1位 有野 美優 (青雲)
 2位 清水 美穂 (清原)

◇女子6年生 (45kg超級)
 1位 上林山未来 (光武館)
 2位 山下 朋華 (立神)

・全九州高校総体 (柔道競技)

◎鹿情報(男子)と鹿南(女子)が団体戦準優勝

◎稲森奈見 (鹿南) 個人優勝
 6月18日 (土), 19日 (日)
 佐賀県基山町総合体育館

★男子団体戦準優勝 鹿児島情報高等学校

★女子団体戦準優勝 鹿児島南高等学校

男子個人戦 (66kg級)
 2位 堅山 将 (鹿児島情報高等学校)

◇男子個人戦 (100kg級)
 3位 下村 柔悟 (鹿児島情報高等学校)

◇女子個人戦 (57kg級)
 3位 岡村 舞子 (鹿児島水産高等学校)

◇女子個人戦 (70kg級)

3位 榎谷 有里 (鹿児島南高等学校)
 ◇女子個人戦 (78kg級)
 3位 高山 莉加 (鹿児島南高等学校)
★女子個人戦 (78kg超級)
優勝 稲森 奈見 (鹿児島南高等学校)
 ・県中学校総体 (柔道競技)
 7月26日(火), 27日(水)
 鹿児島メインアリーナ

◇団体戦 (男子)
 1位 舞鶴中学校
 2位 末吉中学校
 3位 中種子中学校
 4位 山川中学校

◇団体戦 (女子)
 1位 舞鶴中学校
 2位 川辺中学校
 3位 伊敷中学校
 4位 田崎中学校

◇男子 (50kg級)
 1位 内村 光暉 (鹿屋東中学校)
 2位 竹之内 岳 (加世田中学校)

◇男子 (55kg級)
 1位 清水 颯汰 (坊津学園中学校)
 2位 安達 乃真 (鹿屋東中学校)

◇男子 (60kg級)
 1位 岡田 征弥 (鹿屋東中学校)
 2位 中村 啓佑 (山川中学校)

◇男子 (66kg級)
 1位 松岡 剣心 (末吉中学校)
 2位 下村 蓮実 (坊津学園中学校)

◇男子 (73kg級)
 1位 田中 充 (松元中学校)
 2位 上迫 治希 (舞鶴中学校)

◇男子 (81kg級)
 1位 高吉 俊章 (舞鶴中学校)
 2位 豊重 貴聖 (大口中学校)

◇男子 (90kg級)
 1位 池山 凌聖 (中種子中学校)
 2位 富森斗樹也 (舞鶴中学校)

◇男子 (90kg超級)
 1位 中西 将太 (末吉中学校)
 2位 中村 元輝 (帖佐中学校)

個人戦 (女子)
 ◇女子 (44kg級)

1位 前田 千島 (財部中学校)
 2位 磯脇英里香 (鹿屋東中学校)
 ◇女子 (48kg級)
 1位 稲泉 愛璃 (米ノ津中学校)
 2位 奥菌 聖奈 (東市来中学校)
 ◇女子 (52kg級)
 1位 前野 彩 (川辺中学校)
 2位 山下 優光 (舞鶴中学校)
 ◇女子 (57kg級)
 1位 大久保來來 (川辺中学校)
 2位 飛松 杏奈 (舞鶴中学校)
 ◇女子 (63kg級)
 1位 牧田 朱加 (川辺中学校)
 2位 原添 佳奈 (舞鶴中学校)
 ◇女子 (70kg級)
 1位 青柳 麗美 (舞鶴中学校)
 2位 吉永 由麻 (山川中学校)
 ◇女子 (70kg超級)
 1位 鬼塚葉瑠奈 (伊敷中学校)
 2位 山下 里奈 (中種子中学校)

全国高校総体 (柔道競技)

8月9日~13日 秋田県立武道館

★個人戦女子78kg超級

優勝 稲森奈見 (鹿児島南高等学校)

◇個人戦男子66kg級
 3位 堅山 将 (鹿児島情報高等学校)
 ◇個人戦女子70kg級
 5位 榎谷有里 (鹿児島南高等学校)

・九州中学校総体 (柔道競技)

8月10日~12日 鹿児島アリーナ

◇団体戦女子
 3位 霧島市立舞鶴中学校
 ◇個人戦男子 (81kg級)
 2位 高吉 俊章 (舞鶴中学校)
 ◇個人戦男子 (73kg超級)
 3位 上迫 治希 (舞鶴中学校)
 ◇個人戦女子 (44kg級)
 2位 前田 千島 (財部中学校)
 ◇個人戦女子 (52kg超級)
 3位 前野 彩 (川辺中学校)

◇個人戦女子 (70kg 超級)
2位 鬼塚葉瑠奈 (伊敷中学校)

・国体九州ブロック柔道競技大会

8月21日 佐賀県基山町総合体育館
2位 少年女子 (山口国体へ出場権獲得)
3位 少年男子 (予選落ち)
3位 成年女子 (予選落ち)

・全国中学校総体 (柔道競技)

8月22日～25日
和歌山県ビックホエール

◇個人戦女子 (70kg 超級)
5位 鬼塚葉瑠奈 (伊敷中学校)

・全国小学生学年別柔道大会

8月28日 (日)
大阪市中央体育館

◇女子6年生 (45kg 超級)
2位 上林山未来 (光武館)

・全日本実業柔道個人選手権大会

8月27日 (土)・28日 (日)
兵庫県尼崎市

◇男子60kg級
2位 堅山 剛 (鹿児島情報高校教諭)

・全日本ジュニア柔道体重別選手権

9月10日 (土)・11日 (日)
埼玉県立武道館

★男子66kg級
優勝 堅山 将 (鹿児島情報高校3年)

※ 堅山将選手は、11月3日～6日に南アフリカのケープタウンで行なわれる世界ジュニア柔道選手権大会の日本代表選手として出場することになりました。

・第65回県体柔道競技

★川薩地区34年ぶり優勝!

平成23年9月18日 (日)
鹿児島アリーナ柔道場

◇予選リンク

日置4-0伊佐, 枕崎3-2伊佐, 枕崎4-1大島, 肝属5-0大島, 肝属5-0曾於, 川薩4-1曾於, 川薩1-1 (代表)鹿児島, 鹿児島2-0熊毛, 熊毛3-1南さつま, 出水3-2南さつま, 始良3-2出水, 始良4-0日置

▽ 決勝トーナメント1回戦

川薩3-2肝属

始良3-2枕崎

▽ 決勝 川薩3-1始良



主な行事予定予定 (10月～1月)

- 10月 2日 第66回国民体育大会 (萩市)
- 10月17日 県高校新人柔道大会 ~18日
- 10月23日 妙円寺詣柔道大会
- 11月20日 県下少年柔道大会
- 11月26日 県選抜中学生強化練習
- 12月24日 県選抜中学生強化練習
- 12月24日 稽古納め
- 12月26日 寒稽古 ~28日 (県武道館)
- 1月 7日 稽古始め
- 1月14日 県選抜中学生強化練習
- 1月21日 高校柔道選手権大会 ~22日
- 1月28日 県柔道選手権・県女子選手権

【編集後記】 全国高校総体女子個人選78kg超級で優勝した稲森奈見さんと全日本ジュニア体重別選手権男子66kg級で優勝した堅山将君の活躍は、「武の国薩摩の復活」を目指す県柔道会の大きな力となりました。

また、鹿児島でも全国クラスの選手を育成できることも実証しました。

「県柔道会だより」第21号は、平成24年2月1日に発行の予定です。